

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名: 島根県 出雲県土整備事務所

事業の名称: 出雲市駅前矢尾線都市計画街路事業

実施都市名: 島根県 出雲市

事業目的

出雲市駅前矢尾線は、JR出雲市駅を起点とし国道9号及び国道9号バイパスを交差して北進する延長2.3kmの都市計画道路です。中でも整備区間は出雲市駅前の目抜き通りであり都市の顔となる「シンボルロード」と定め、ゆとりとうるおいのある都市づくりを推進し中心市街地の活性化に寄与するものとして整備を行いました。

事業概要

事業名称:出雲市駅前矢尾線都市計画街路事業

路線名:出雲市駅前矢尾線

事業箇所:島根県出雲市今市町

事業延長:748m

幅員:25m(2車線)

事業費:約98億円

事業実施期間:平成9年～平成21年※

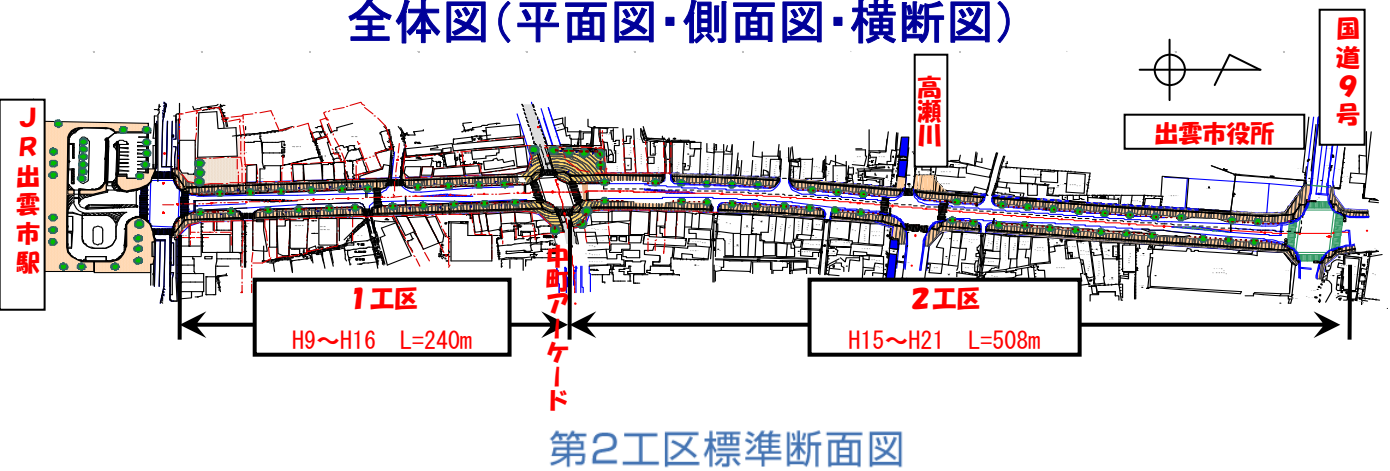
本事業は、シンボルロードであるJR出雲市駅から国道9号間の延長748mを二つの工区に分けて整備したものである。

計画にあたり、地元商店街と自治会で組織する「中心市街地まちづくり協議会」を設置してワークショップや意見交換会を開催し市民意見を取り入れた計画とした。その結果、雨の日でも歩きやすい透水性のブロック舗装や高齢者にも安心なベンチを設置したり、イベントへの対応としてパラソルを固定する基礎や歩道照明に電源を設けるなどの工夫をした。

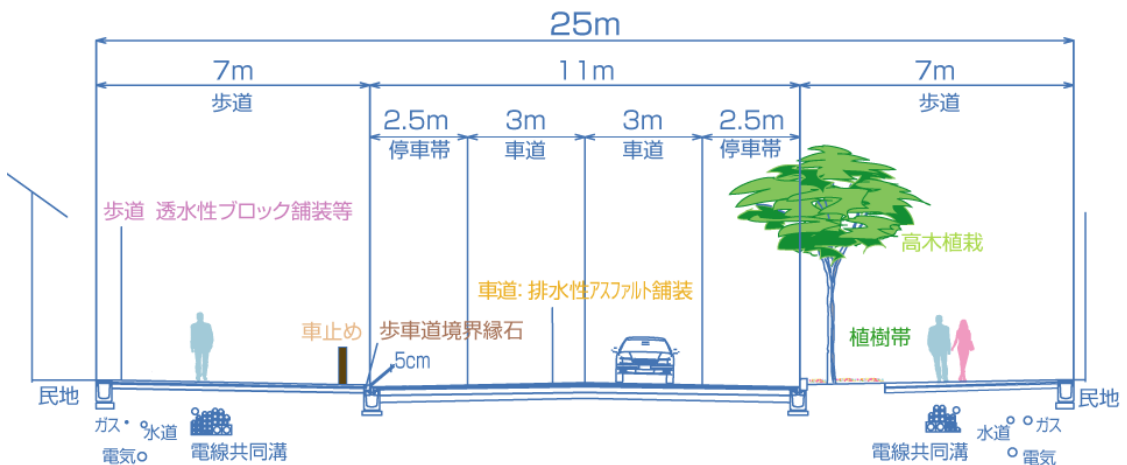
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



第2工区標準断面図



出雲市駅前矢尾線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 出雲市駅前矢尾線街路事業
 路線名: 出雲市駅前矢尾線
 事業箇所: 島根県出雲市今市町
 事業延長: 748m
 幅員: 25m(2車線)
 総事業費: 約98億円
 事業期間: H8~H21年度

○交通量調査結果

供用前 平成17年10月18日実測
 供用後 平成22年3月17日実測
 ・交通量の推移
 自動車類7,626台→6,530台 (1,096台減)

※本路線と並行する市道改築により南北交通量が分散したと推測される

「整備効果」

○停車帯利用による円滑な交通確保と円滑な商業活動の実現

1日100台弱の荷捌きあり

○旅行速度の向上

13.4km/h→**22.8km/h**

○CO2排出量の削減効果

旅行速度の向上により
 330.7kgのCO2が削減

「その他の事業効果」

○安全安心で快適な歩行空間
 通行者の7割以上がよくなったと評価

○賑わいの創出

道路を活用したイベントが開催

○良好なまち並みの形成



荷捌き車が停車していても交通に影響なし



事業前写真

平成12年4月撮影



(1工区)

平成12年4月撮影



(2工区)

平成16年4月撮影



事業後写真

平成21年7月撮影



(歩道内でのオープンカフェ)

平成21年9月撮影



(歩行者天国にしてのイベント)

平成21年10月撮影

